

### 第3回滝沢市自治基本条例検証委員会 会議録草稿

(令和5年3月8日(水) 午前10時～正午)

#### (司会) 事務局

それでは、ただいまから第3回滝沢市自治基本条例検証委員会を開催いたします。

本日、委員全員出席いただき大変ありがとうございます。傍聴者0人ということになっております。それでは、はじめに武田市長よりご挨拶をお願いします。

#### (挨拶) 市長

おはようございます。本日は年度末のお忙しいところ、委員会にご参加いただき本当にありがとうございます。

まず、滝沢市自治基本条例は平成26年1月1日、ちょうど市制移行にあわせて策定されたものでございます。あわせまして本年はちょうど市制施行10年目を迎えているというところでございます。

そうしたなかで地域、議会、行政の協働とそれぞれの役割分担を定めた条例でもあります。

そうしたところを含めまして、これからの自治基本条例がさらなる進化を生み、自治基本条例に定められているそれぞれの幸せ、そして醸成<sup>じょうせい</sup>のために一緒になってこの条例のあり方というものを皆さんと一緒にみていければいいなと思っております。

そして総合計画、これは私が上程いたしまして1年延期ということが今回議会の方では認められませんでした。私もこの自治基本条例に定めてあります28条3項にある、総合計画には私の公約を含めてしっかりと作るべきであるというような規程がありましたけれども、その自治基本条例をこれからも大事にしながら総合計画策定に努めてまいります。いずれにいたしましても市民の皆さんにご理解いただきながら総計をしっかりと作ってまいりたいと思っておりますので、これからも様々な形でご協力をお願いしたいと思っております。

そして、依然として今はコロナウイルス感染症、こういったところでそれぞれの活動がなかなか制限されているところではありますけれども、5類に下がったからと言ってその感染対策<sup>おこた</sup>を怠<sup>おこた</sup>ってはいけませんとも思っております。しかしその中で、この3年間の中で、それぞれの活動の中で経験されてきたこと、そしてさらにこれからは人と人とのつながりをもう一度深めるための行動というのが求められてくると思っておりますので、その中でこの自治基本条例をまた作り変えていただきながらそれぞれの活動をしていただければいいなと思います。

本日は、この自治基本条例に基づく地域づくりがきちんと進められているか、そういったところをご検証いただきながら、それぞれの委員の皆さんのご忌憚<sup>おこた</sup>のないご意見を賜りながらこの会を進めてまいりたいと思っておりますので、本日はどうぞよろしく願いいたします。

#### (進行) 会長

市長ありがとうございました。引き続き市長も同席しますので、よろしくお願いします。

次第にはございませんが、本日ご出席の委員の皆さまをご紹介します。名簿順でご紹介いたします。お名前をお呼びいたしますので、呼ばれた方はその場でお返事をお願いいたします。

#### (委員紹介)

### （進行）事務局

それでは議事に入ります。議事の進行につきましては検証委員会条例第4条第2項の規定によりまして会長にお願いします。

### （挨拶）会長

それでは、今回第3回の検証委員会ということで、なかなかこれまで全員が揃うということがなくて、特に若い委員さん方の声はなかなかお聞きできず大変申し訳なかったと思っております。

今日は市長さんもお同席ですので、ぜひ全員にご発言をいただくということでよろしくをお願いします。

改めまして、まずこの基本条例についてということで、皆さんもう十分ご承知のことであるとは思いますが、なかなかボリュームの多い検討をこれまでやってきましたので、なかなか総論に終わるといいますか、何をしたいのかよくわからないというところもあったかなと思っております。

今日これから順にお伝えしますが、基本条例があり、さらにそれぞれの行政基本条例あり、議会基本条例があり、そして地域コミュニティの条例があり、ということでそれぞれある程度枠組みができて、その中で自律的に振り返りをやっていただいているということですので、この委員会としてはそうした自立的な振り返りで、自分たちで検証してより良くしていくというところの仕組みがうまく回っているのか、個別のところに入りすぎるとボリュームが多すぎて見きれないので、そうしたトータルな視点を持ちながら検証していただきたいのがひとつ。

一方で、実はこの基本条例に基づいて市民参画条例というのがないですね。従いまして、市民参画、それから住民自治というところはこの委員会がちゃんと見ていかないと回らないのかなと思っております。そうした観点で色々ご意見をいただければと思っております。よろしくをお願いします。

今日の進め方ですが、議事（1）と（2）をあわせてご説明いただくということでよろしい議会なりにでしょうか。資料は膨大なのですが、ある程度簡単にご説明を（1）と（2）続けてしていただきますので、そのあとに、時間が勿体ないですから名簿順で回しますので一人ずつご発言いただくということでお願いしたいと思います。そしてそのあとに（3）の地域活動のこともお話をいただきまして、時間があれば第2ラウンドでまた回したいと思います。時間がなければ進行させていただきますのでよろしくをお願いします。それでは早速ですが議事の（1）と（2）を事務局の方から説明をお願いします。

### （説明）事務局

それでは私の方から（1）の議会基本条例に基づく議会評価結果について、（2）行政基本条例の検証結果についてあわせてご説明をさせていただきます。

事前にご郵送しました資料のうち、資料1、資料2、参考資料2、参考資料3がここに関連する資料になりますので、お手元にご準備をお願いします。

それでは最初に議会基本条例に基づく議会評価結果についてご説明いたします。資料1の1枚目をご覧ください。ここには議会基本条例の附則に書いている、「開かれた議会」、「市民とともに歩む議会」、「行動する議会」の3つの理念ごとに評価がまとめられています。

黄色の部分が「開かれた議会」についての評価となります。この評価は議会運営委員会と広報常任委員会が行っておりますが、その内容はいずれも「4：成果が出ているが改善の余地がある」となっております。

次に緑色の部分が「市民とともに歩む議会」についての評価となります。この評価は、請願等につい

ては「5：十分な成果が出ている」となっておりますが、実施できなかったものがございまして、その部分については「2：成果が出ていない」という評価も多くなっております。

最後に青色の部分が「行動する議会」についての評価となります。この評価は、ばらつきがございまして、「-：実施していない」となっているのが「政策評価」。「市長等との関係の基本原則」、「議会審議における論点情報の形成」、「議決事件の追加」、「政策検討会」の4項目については「2：成果が出ていない」という評価になっております。また「自由討議による合意形成」、「危機管理体制」の2項目については「3：成果が不十分」、「予算審議」、「決算審議」、「議会モニターの設置」、「議会アドバイザー設置」の4項目については、「4：成果が出ているが改善の余地がある」となっています。「5：十分な成果が出ている」という評価は「政策提言」の1項目となっております。以上、3つの理念の評価のまとめがこの表下段の紫色の部分に記載されております。令和3年度の評価については、「評価表の改善を図り、議会基本条例の内容をベースにした項目に基づいて評価を行いました。特にも市議会で掲げている3つの理念に分けた評価項目の振り分けもわかりやすく、具体的な協議に繋がった。」となっております。また、「議会基本条例の項目とリンクさせたことで、条例の検証につながる内容を多く確認することができた。今後についてはこの評価内容を十分に活かせるようにさらに整理し、議会アドバイザーの助言や市民の意見等をいただきながら検討を進めていきたいと考えている」となっています。

続きまして、行政基本条例の運用状況等の検証結果についてご説明いたします。お手元に資料2の「行政基本条例の運用状況等の検証結果について」をご用意ください。

行政基本条例の第21条に条例の検証について規定されております。この第21条に基づき検証を行った結果が資料2にまとめられております。

まず条例の運用状況についてですが、条例の各規定の運用状況について、それぞれの事務主管課が評価を行っております。その結果が資料2の2ページから4ページに書かれております。個々の評価については今回ご説明いたしません。各項目についての評価を主管課ごとに評価している内容となっております。

また、条例第5条の市民との連携協力については特にわかりやすくご説明するために、5ページから10ページに事例別に具体的に掲載をしているところでございます。

次に市民の意見の変化については、たきざわ幸福実感アンケートを毎年度行っておりまして、それに基づいて市民の意見の変化を調査しています。その結果が資料の11ページから13ページとなります。

これらの条例の運用状況と市民の意見の変化の結果を踏まえまして、「必要性」「効果」「適時性」の視点から条例の有用性を検証した結果が最終ページの14ページにまとめられています。

以上3項目の検証の結果、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等によって人とのつながりの機会の減少があったものの、条例第21条第2項に規定する「条例の見直しまたは行政運営上の仕組みの改善等」を講ずる状況には至っていないとの判断となっております。以上、簡単ではございますが、滝沢市議会基本条例に基づく議会評価結果と行政基本条例の運用状況等の検証結果について概要のご説明をいたしました。よろしく願いいたします。

## （進行）会長

資料は膨大なのですがたいへん端折<sup>はしよ</sup>って説明していただきました。ありがとうございます。

すぐには把握しづらいかもしれませんが、議会評価に関して、今回資料1の1番最初の1枚、わかりやすい形でテーマごとに色を示してまとめてくださっているということで、かなり進んだのではな

いかという印象を私は持っています。議会として非常に努力されたのではないかと思います。一方で、自治基本条例第23条には議会評価のことが書かれていまして、「市民が参加して議会評価をする」と努力規定が書かれています。こういったこともどうなのかということはこの委員会でも議論がありました。こういうことを踏まえて、この議会の評価というものが本当にこれで条例の趣旨に活かされているのだろうか、議会は良くなっていきそうかな、というところを含めて皆さん色々ご意見いただきたいと思います。

あわせて行政基本条例の方もかなりきっちり評価していただいていると思います。一方で皆さんも資料をあらかじめご覧いただけたかとは思いますが、市民の意識調査が資料2についていますけども、これを見るとコロナ禍ということもあるのですが、やや「市役所の仕事が信頼できる」という指標がなかなか厳しいものがありますね。そのあたりをどう捉えているか気になったところです。

それでは、資料だけに捉われずとも結構ですので、この条例を施行して年数が経ちます。この間市政、議会にどのような課題があつて、条例が活かされているのかどうかということも含めましてざっくばらんにご意見、ご質問でも結構ですので一言ずつお願いしたいと思います。予告しておりましたが名簿順で、ボリュームあるのでお一人2～3分くらいしかとれませんをお願いします。

#### (発言) 委員

議会評価一覧のI-1《議会運営の情報公開》で、中を見ますと、現状と課題というところで、「会議を公開しているが、市役所に来ないと傍聴、閲覧できない。」となっています。ネットが使えないと見られないのだというふうに取りられるのですが、私らのような高齢者はなかなかやっている人が少ないのではないのかということで、実際私も傍聴に何回か行っているのですが少ないですね。傍聴席に二十数人しか座れないような状況ですけれども、行ってみると多い日も十数人しかきていない。そうすると、ネットで配信できるようなものを議会の方で一応作ってはいるようですが、私らのように見られない立場の人への対応をどういうふうと考えていけばいいのかというのが実際あるかなと思います。もちろん議会の広報は毎回見てはいるのですが、やはりそれだけではなかなか対応できないものはあるかなという感じがいたします。

#### (進行) 会長

ありがとうございます。今の点についてはどうですか。

#### (回答) 事務局

インターネットということで、今のテレビですとユーチューブのボタンがあつて、そこを押すと声の検索とか文字検索で入れることは入れるのですが、それもなかなか、慣れないことはあると思います。

#### (発言) 会長

それこそ滝沢ラジオというようなものは、ないですか？

#### (回答) 事務局

ラジオはありません。

#### (発言) 会長

花巻市ですとコミュニティFMで流しています。結構聞かれています。ラジオですと何もしなくても流れているので、いろんなアプローチがあるかなと。

#### (発言) 委員

市役所のロビーで議会中のテレビは流しています。いずれにしても市役所に来ないとなかなか傍聴できないっていうのがちょっと。

#### (進行) 会長

ありがとうございます。大事なご意見をいただきました。

#### (発言) 委員

資料見させていただいて、どうしても評価の低いところに目が行ってしまって、そこを確認させていただきました。

「Iー開かれた議会」というところで、委員とはまたちょっと違う意見になってしまうのですが、広報の皆さんや学生アルバイトの方がインスタとかユーチューブとかですごく発信をしてくださっているので、私は逆に前よりも市の取り組みとか活動とか、若い人たちもこうやって一緒に取り組んでくれているというのを前よりも身近に感じてみる事ができています。そこはすごく進化しているところだなと思っています。

議会に関して言うと、どうしてもお仕事されている方たちは、議会を傍聴するという機会がなかなかないので、広報と一緒に来る市議会だよりを見ることで知ることになります。インスタとか広報とかで発信されていることによって、身近に感じてみる事ができるのは、すごくいい取り組みだなと思っています。今後もそこは続けていただければなと思っています。

あと市長との関係は、これから施策とかも皆さんにも理解いただけることなのかなと思っていたので、そこに関してはちょっと時間が必要なのかなと思って見させていただきました。

#### (進行) 会長

ありがとうございます。

情報の発信についてほんとに世代の問題というのは大きいですので、やはりどの世代も取り残されることがないように取り組んでいただきたいと思います。

では次の委員さんお願いします。

#### (発言) 委員

議会基本条例に基づく議会評価結果が結構な量で示されているのですが、できれば今日、やはり議会事務局等がここに出席して、質問したいこともありますから、色々説明していただきたいと思いました。前回の検証委員会でも、この議会評価の件で色々皆さんから意見が出ていまして、実現はしませんでしたけども、検証委員会と議会との意見交換を持ったほうが良いのではないかという意見も出ていました。

滝沢市議会基本条例の中で、議会の評価というところで、議会評価を1年ごとに行い、評価の結果を市民に公開するとか、議会評価を行う場合は市民が参加できるよう努めるものとする、という規定があ

ります。私は今日、議会の方が来ていれば、どのようなメンバー構成でこの評価を行ったのか、具体的にどのように市民が参加していたのかを伺いたいですし、この評価の結果は議会だよりでも載っていないかと思いますが、どのようにして市民に公開したのか、そこもお伺いしたいと思っていました。あとは具体的に、この評価の中で、Ⅲ－２とⅢ－３のところ、Ⅲ－２は市長との論戦とその明確化、Ⅲ－３には市長等が行う施策と施策の評価という項目がありますが、ほとんどが実施していない、したがって評価もしていないという結果が出ています。令和３年度の評価ですから前の市長との中身ですけど、こういったほとんど実施していない、評価もしていないというのは果たして基本条例の議会としての役割を果たしているのかどうかというのは疑問に思います。そういったところです。以上です。

#### （進行）会長

はい、大変有用なご意見かと思えます。

私もできれば、議会の事務局に来ていただければありがたいかなと思いましたが、それも含めてどうですか。

#### （発言）事務局

前回の検証委員会も意見交換についてご意見が出ていて、申し入れ等もしていますが、実現ならず申し訳ありません。それは引き続き、お願いしていきたくと思っています。また今日は、環境厚生分野のいわゆる健康福祉部の予算の審議をしているところで出席かなわすということではありますが、委員のおっしゃっていたことは議会へお伝えしたいと思っています。

#### （発言）事務局

議会評価の市民への公開ですが、おっしゃるとおり議会だよりには載っていないのですが、滝沢市議会のホームページにこの議会評価一覧も含めて載っています。開けてすぐのページではないので、おっしゃるとおり、わかりづらいのだと思います。

#### （発言）会長

そういう状況ですと、あまり見られたくないという風に思われてしまいますので、議会自体が評価しているということを、もっとアピールしたほうが良いと思いますね。評価の内容はまだまだこれからだけ、「でもやってるんだよ」という取り組みの姿勢はアピールすべきですね。

#### （発言）委員

委員がおっしゃったことはもっともだと思います。この委員会でも「もっと市民の目を得た評価をやるべきだ」と議会へもっと働きかけることがあってもいいと思います。それからもうひとつ、議会の評価として、アドバイザーとかを入れてその人たちの意見を聞くということになっていて、良くできていると思います。条例制定当初の数年前の議会だよりを見ればわかると思うのですが、初めはアドバイザーやサポーターを含んだ市民的な組織、評価委員会みたいなものを構築して議会評価に乗り出していくということだったので、アドバイザーを入れたことである程度賄えたかなと思っています。アドバイザーは建設的意見がある方が多いと思いますので、それだけでなくもっと客観的に評価していただく方策をこちらから進言したらどうかと思うと思います。前回の検証委員会でもそういう話題になった

ので、ぜひそのへん考えていただければと思います。

#### (発言) 会長

ぜひそこはまた申し入れていただきたいと思います。

議会は行政とは違いますので、市民参加の評価をしていないと言われても、いきなり「じゃあどうするのか」というのを決めるのは、いろいろな検討が必要だと思います。ただ、第一歩としてこの委員会と議論をするというのも、委員さん方の意見を聞いたということですから、ある意味市民参加だと思います。ステップバイステップで、どういった参加が望ましいのか、また行政とは違った観点があるはずですから、そのへんは殻に閉じこもらずオープンに議論できると、我々もチェックするだけでなく提言もできるわけですので、そういった機会はお願いしたいと思います。

#### (発言) 委員

評価のまとめのところに書いてある要点は、開かれた議会であり、市民とともに歩む議会、行動する議会なはずなのに、今の発言を受けてというわけじゃないですが、本当にこうなっているのかなというのはいつも疑問です。私も傍聴に行っていますが、忙しいとか様々な条件はあると思いますけど、議会の傍聴そのものに市民がもう興味ないという感じがします。評価はある程度の評価をしているけど、実際は、先ほどおっしゃったように「やってないな」という感じがするような、評価の内容を見て取れるような結果です。

私たちは女性の立場で、特にも婦人会も70年の歴史があるので、「議会傍聴しようね」ということはずっと継続している項目にはなっていますが、行くのは私を含めた何人かで、行ってもわからないとか、我々の意識が諦めかけているという感じがします。それから、自分の興味のある議員さんの時だけ傍聴に行って、それで「良いじゃない」という評価で済ませるような上辺のような感じがするので、議会アドバイザーの方々が議会に助言しているように、私たちがアドバイザーになったつもりでやっていこうじゃないかということをお話しています。評価が良いのは良いですけど、ちょっとまだというのが多いというのは疑問かなと、一覧を見てそう思いました。以上です。

#### (進行) 会長

ありがとうございます。団体さんの方でも非常に努力してくださっているということで、そもそも論になりますけれど、女性や若い人が聞きたいと思える内容で論戦をしていただきたいですね。

どこの議会でもそうなのですが、お互い足の引っ張り合いじゃないですけど、そういう議論は誰も聞きたくないんです。それで、やっぱりこの議会の基本条例が最終的には自治立法とか政策提案というところまで目指していますけれど、全然そこには行き着いていない、政策提言はあったのですが、議会自ら立法していくというところにはまだ行きついていないわけです。そうした動きをやっていくことと、市民の関心が高まるということは表裏ですので、その先まで含めてこの条例をうまく使って進めていく、これも大事なことです。

では、続けて次の委員さんお願いします。

#### (発言) 委員

はじめに、Iー開かれた議会ということで、やはり情報発信というのは一番大事なところで、特にも

今、市の方では広報誌やホームページ、議会だより等もやっておりますが、先ほど話が出ましたけど、高齢者は特にホームページとかを見る機会が少ないですね。やはり議会だよりをいかに今後とも充実してやっていくか、それが一番市民の目に留まるのではないかと思います。我々もそうですけど、議会だよりを見れば、それを見ながら、議会がこういうふうに応用しているのだなと理解できるので、今後ともわかりやすい内容のものを掲載してほしいと考えています。

それから、市民とともに歩む議会の中のⅡ－５で、私は自治会の方も担当しておりますけど、議会がやっている市民との懇談会は、非常に参加率が低いです。どこに行っても、大きい自治会で1000人もいても集まってくるのは10人とか、その程度しか集まってこないのが現状です。ですから、どうも議会に対する興味が非常に薄いのかなと感じています。自治会役員だけが参加しているというところもあるので、もう少し何とかしないと、いくら議会が頑張っても市民に浸透していかないのが現状ですね。市民とともに歩む議会であれば、参加をいかに多くするか、それをやっていかないと、議会に対する認識が、いくら立派なものを作っても生きてきませんので。そのために私は前々から言っていますが、岩手日報を見ると滝沢市の話題が少ないです。新聞に載ることも月に1回か2回しかありません。よその広域的な市町村は何回も載っています。それだけ話題性が少ないのです。そういうことも含めて議会の方でもやはり地域に対する話題提供的なものを、もう少し座談会や懇談会の中で説明すべきでないかなと思います。そうしないと市民と議会とが両輪になっていかないとしますので。その辺は今後とも検討する余地があるのではないかなと思います。以上、簡単ではございますがお話させていただきました。

#### （進行）会長

ありがとうございました。滝沢市は話題が少ないということですが、市長さんそのあたりはいかがですか。

#### （発言）市長

新聞掲載については、この間も写真でも載っていましたが、もう少し気を付けて見ていただくと気付いていただけるかなと思います。あともう一つ、いま若い世代の方々に、滝沢市出身の熊谷萌さんはじめ世界で活躍している選手もいますし、市の情報というところでいくと、そういった若い世代の方々の活躍がかなりあります。そして間もなく今度プログラミングコンテストというのをやりますが、それでもRubyコンテストで世界一をとった学生もいますので、全体的によく見ていただくと滝沢市出身の若い世代、そういった方々の活躍も最近はよく載っています。いずれにしても良いことで、もっともっと載るように頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

#### （進行）会長

ありがとうございます。それでは、皆さん議会のことに話が集中していますが、行政評価もいただきましたのでそれも含めて、次の委員さんよろしくお願いします。

#### （発言）委員

まず議会評価の方からですが、非常に細かく、しっかりと評価、さらには方向性というところを見ているなと思います。

まず、開かれた議会というところですが、ユーチューブで公開しているものは、私も何回か見ていま



すし、拝見もしています。傍聴にも興味があるものに関しては行きます。ただ、ユーチューブに関しては、このデジタルツールというは、本来であればただの手段なのですけれど、すごく目的になりがちです。公開すればよいということではないのです。それで、何に対してやっているというのが非常にわかりづらい。公開・配信するというのはそれでいいと思うのですが、今後の検討課題として Facebook、Twitter っていうところをさらに追加をしていくのであれば、サムネイルであるとか、そういうところを工夫していかなければ、我々世代は見ないですね、正直言うと。というのも、ピンポイントで「市長が市を本気で変える」とか、惹きつけるものがないと見ない。議会をダラッと流されても何をしているのかわからないので、どんどん早送りをしていって結果的に「検討します」で終わると、次必ず見ないという傾向があります。できればロイヤルファミリーのように、ギャップを作ったデジタルコンテンツにしていれば非常に良いなと思います。議会はある程度カチッとしていなければいけない、市役所の職員の方々もカチッとしていなければいけないというものと、緩めるギャップっていうのを上手に作っていただければ、我々世代の議会に対する興味というのが増えてくると思います。叩かれる覚悟で一回崩してみるのはいかがでしょうか。SNSの活用というのはそういうものだとということで、今後の検討課題として実行していただきたいなと思います。

あとは行政基本条例の方に行きたいと思いますが、事例の方に各課色々上げていただいているのですが、私も全部把握できるものでもないで、例えば9ページの事例8水道ビジョンというところにある、滝沢市の水道ビジョンというものは、拝見しています。ただ、いま水道は、国の厚生労働省が管轄ですけど、国の水道ビジョンとリンクしている部分が非常に少ない。国の方針にも国の水道ビジョンというのちやんとありまして、そことリンクした部分というのももっと入れていって、さらには検討するではなくて、10個課題が出たら毎年1個ずつクリアしていただければ良いと思います。多くなくていいので、10個課題があったら1年に1個やっていくという風にやっていると、10年経つとだいぶ良くなると思います。ぜひ、「検討」と「展開をする」ではなくて、「実行する」とちゃんと言い切ってやっていただくと、みんな耳を傾けていくのではないかなと思います。せっかくここまで分析に長けている非常に良い資料になっているので、そこからさらに踏み込んで、強気でいっていただければいいなと思います。以上です。

### (進行) 会長

ありがとうございます。「緩める」「崩す」の話ですけども、ご存じの方もいると思いますが、議会で電車の吊り広告のような強烈な広告をしている自治体も北海道の方であります。週刊誌の中吊り広告のような感じで、「〇〇議員がなんとか」とか「なんとかが突っ込む〇〇」とかですね、若い人向けなのですが、そういう形で、入り口として敷居の高さをあえて崩す、「議会ここまで市民に向かって来てくれて言っているのだな」というのが伝わるようなやり方というのはもう少し、滝沢ならではの緩さで行けるのではないかなと私は思いました。

あと水道ビジョンのこともありまして、市民との協働の一例ということですけど、今おっしゃられたように、ビジョンを作るときは協働でアンケートとかパブコメとかやるのですが、そのあと毎年のなにかこれで実現しているのかというところが見えづらいというご意見につながると思います。そうした部分は水道に限らず、行政計画ってみんなそうです。こうしたことについても、なにかコメントがあれば。

#### (発言) 課長

まさに作りっぱなしではなく、作ったら1年1年振り返りをするとか、10個のうち今年は何個できたというのは、本来であればすべての計画に求められるところではあると思いますが、なかなかできていない部分ではあるなというところがあります。

#### (発言) 市長

水道ビジョンの絡みも含めて、いま水道水を採水しているところがあるのですが、その建屋の中が素晴らしいです。コロナ禍でなかなか公開が難しいのですが、しっかりとした自然資産といいですか、市の財産だと思っているので、それを市民の皆さんにももう少し公開日を決めて見せたらどうかと思っています。どこからどうやって水がとられて皆さんのもとに届いているか、見てもらえるようにしようということで、水道の方に今年度やるように指示をしています。いずれにしても、滝沢市にあるものをもう一度見ていただく、市民の皆さんもそこに行って一緒に見ていただくことで、活用の仕方、そして滝沢市の各地に眠っているいろんな資産に関して、もう一度注目してもらいたいと思っています。このところは今後気を付けてやっていきたいと思っていました。

#### (進行) 会長

ありがとうございます。水道に関して皆さんもよくご存じの矢巾町の取り組みがあります。水道サポーターというのを、職員が町民のお宅を1件1件訪ねて、謝金まで払ってお願いをしています。そして市長さんがおっしゃったように、まさにありのまま、日本人というのは水道をひねれば当たり前に出てきて、その裏にどれだけコストが掛かっているというのをなかなか知らない国民ですので、それを全部水道サポーターに見せて、「いま浄水場がこんなに古くなって錆びだらけになって大変だ」というような裏事情を全部見せて、議論を重ねて、水道料金やっぱり上げざるを得ないよねという合意形成に至ったという事例もあります。ぜひ、水道こそ、そういった市民参加が有効だと思いますので取り組んでいただければと思います。

それでは次の委員さんお願いします。

#### (発言) 委員

議会とかの評価を見せていただいて、議会だよりやホームページのインパクトが足りないという先ほどのお話がありましたけれども、やっぱりもうちょっと、全世代を通して、手に取って、開いて、見て、そしてわかるという形のスタイルに脚色してもいいのかなと思っております。Ⅱの市民とともに歩む議会というところで、市民懇談会、先ほどもお話が出ていましたけれども、私がやっております学童保育でも、年に1回、議員懇談や市長懇談で、今、滝沢で暮らしている父母世帯、子どもを持つ世帯の要望を届けるということを行っていたんですが、ここ3年コロナの影響がありまして、そういう機会が失われておりました。やっぱりそういったところで、本当に現場の声を議会にも届けたいという、議会の事務局にも来ていただきたいと私もそう思うのですが、コロナであっても、そこで飲食をするわけではないので、きちんと我々の要望を聞いてほしい、あるいは知ってほしいという気持ちはあるのですが、なかなかそれが設けられない、評価もできない状況になっているということが、逆に市民から議会の方の目が離れていってしまうのかなと、聞いてもらう機会がないじゃないかと。色々伝えたいけれど、どうやって伝えていっていいかわからない、「コロナだから無理だ」と切られてしまうというケースがこれ

まで何度かありましたので、今後5類に下がるということで、こういった機会が増えて、議会と市民と共に歩んで行って、良い方策、施策を出していただけるようになるのではないかと考えています。

それから、行政の評価の方になりますが、私が学童の方でやっていると、どうしても学童を利用されている父母さんというのは共働きです。両親ともに働いている、あるいは学校からの距離は近いけど安心ではない通学路上で、危険が潜んでいるために学童を利用しているという方が多いのですが、そういった父母の方々が、行政にあまり興味を持っていないという実態があります。市長選のことにしてもそうですし、議会についてもそうですし、「こういうふうに行政で変わっていくらしい」という話がなかなかできづらい、というのは忙しくて、やっぱり時間がない。先ほど言ったように、資料を手にとってみる若いお父さんお母さん方が非常に少ないのではないかなというところを感じています。我々の方でも議会でこんな動きがあります、滝沢市がこういう風に変わっていくというのを、学童の役員さんにはなるべくお伝えするのですが、すべての父母さんにお知らせするとなると難しいので。実態としては少子化が進んでいますが、学童を利用される父母さんは毎年増えてきています。ということはやっぱり、滝沢に定住したいという思いから子どもを連れてマイホームを建てて住んでいるという方たちなので、そこに響くようなメッセージを行政の方でもアピールしていければいいのではなかのかなと感じています。今までコロナでいろいろあったのでなかなか幸福度っていうのは上がりにくいのではないかとするのは、結果を見て思いましたけども、今後改善していけるようにしていければいいのではないかと思います。以上です。

#### (進行) 会長

ありがとうございます。そうした若い世代の声を聞きたくて、今までこの委員会でも大事な点だと思っていて、本当に今日聞けて良かったなと思います。今のように、なかなか子育て世代の声を聞く貴重な機会っていうのが、コロナもありますけども、更に充実すべきではないかと思われま。このことに関してはどうでしょうか、何かこれから工夫していきたいというところがもしあれば。

#### (発言) 事務局

子育て世代のお母さんたちのまとまりがあれば、そういった場での出前講座もあるのかなと思います。また、委員がおっしゃった伝え方、見せ方というところであれば、1枚のチラシ作るのでも同じ中身伝えるのでも見せ方は大事だなと私も思っています。

あとはコロナウイルス感染症が5類になっていけば、だんだんとコミュニケーションだったりノミネーションだったりというところも復活していければいいのかなと思っています。

#### (発言) 市長

私この間、鵜飼小学校に行って、本当に短い時間だったのですが、子ども達に対して読み聞かせをやってきました。PTAの皆さんにも、もっとPTA活動してくださいねと、コロナ禍だったけれども、一つの突破口としてやっていただきたいと、そういう意味を含めて、これから鵜飼小学校を皮切りに各市内の小学校を回って読み聞かせをしながら、折を見て図書ボランティアの人たちとの対話をする機会を増やしたいと、そのように行動してまいりたいと思いますのでよろしくお願ひします。

### （発言）委員

個別の意見は特にはないですが、基本的に今言われたようなことをやってほしいというのが、私の意見です。当初から関わっていて、経緯を見ても、そのへんがまだ進んでいないかなど。この委員会で何か申し上げればいいのでしょうか。一回議会とコンタクトをとりましょう。行政もそういったことがあるのかもしれませんが。とりあえず議会の方から進められたらと思います。

### （進行）会長

ありがとうございます。皆さんから一通りご意見いただきましてありがとうございます。

今、委員さんもお話されましたように、一回意見交換の機会は必要かと思います。さらに議会も行政も同じなのですが、「委員会に言われるからやらなきゃ」ではなくて、やはり声を聞くと良いなど、気が付かなかったけれど、こういうことを考えているというのがわかったなとか、これによって議員同士の議論が弾むようになったなとか、そういう効果がわかって自ら取り組むということが、一番あるべき姿だと思います。そのために、今ほとんど全ての委員さんから出たように、「届く情報のあり方」それから「関心を持って来てもらえる議論」そういったものですね。

アウトリーチという言葉、皆さんお耳にされていると思います。市民に対して「困った人は窓口に来てください」ではなくて、行政から出て行って色々相談や耳を傾けることをアウトリーチというのですが、それにプラスして、今、インリーチということも言われています。例えば、今まで「文化会館で行事をしているので、よろしければ来てください」というだけでなく、アウトリーチして小学校・中学校に芸術活動を届けましょうというものがあります。インリーチというのは、例えば「これは子育て中のお母さんにこそ聞いてもらいたいコンサートです、赤ん坊連れてきて泣いてもいいですよ」という行事をしたら、まさに学童とか保育所とかを通じて、そういったお母さん方に直に招待状を出して来てもらいます。そうすると議会も同じですけど、「今日学童のことで一般質問が出るんですよ。議案がありますよ。」って言ったら、お父さんお母さんは来ます。どんなに忙しくても我が子のために。というようにインリーチをかけるのです。少子化の時代で、今までの発想では関心を持ってくれません。お互いの幸せのためにそういったことも色々努力していく必要があるかなど、改めて今日皆さんのご意見から分かったことかなと思います。

続けて、（3）の地域活動について説明をお願いします。

### （説明）事務局

お手元に資料3と書かれた資料をご準備ください。コロナ禍における地域活動についてご説明申し上げます。

まず、1ページ目に市が考える必要な取り組みを記載しております。新型コロナウイルス感染症の蔓延により、人と人とのつながりをつくり、地域との関わりを持つきっかけとなる地域交流の事業が実施できない状況が続いておりまして、地域のつながりが希薄になってきている状況でございます。

また、コロナ禍以前より、担い手不足などの地域活動の運営についての課題も挙げられております。

このような状況を受けまして、市としては、滝沢市内の自治会が工夫して行っている活動の事例を共有して展開を進めていくこととあわせまして、スマホ等を活用した情報発信に主軸を置いていきたいと思っております。

令和4年度におきましては、情報共有のために自治会役員さんを対象とした事例発表と意見交換を行

う機会を設けました。また、SNSについても自治会の役員さんにお集まりいただきまして、自治会の役員内での情報共有の仕方、紙を配るのは大変だという意見がございましたので、せめてメールとかなにかで情報共有できないかというところの研修と自治会にお住まいの方々に「今度こういうことをしますよ」とか「こんなことしてますよ」ということを、若者世代が見ないという課題から、スマホで見られる状況でできないかという研修をキックオフでやってみました。初めてスマホでSNSをやってみる役員さんも大勢いらっしやったので、回を重ねてスキルアップをするように目指していけたらなと思っております。

2ページ目以降、自治会様に取り組んでいる活動をご紹介します。簡単に説明を載せていますが、(1)と(3)については発案されたのは子育て世代のお母さんです。まさに発案したものを自治会が吸い上げて事業化できた事例かなと思います。(2)については自治会長さんが「やるぞ!」と言ってパーティーションを自作して外で事業をして、コロナに負けないで集まろうといったのが、このお花見会になっています。(4)はパネルを使わなくても外でやればいいじゃないということで、地域内を歩き回った事業になります。歩き回ってすれ違うことであいさつできますよね、ということでコミュニケーションをとっていただいた、あとは参加賞の景品に地元の飲食店や商店から商品を購入されて地元の商店の応援をあわせて行っている事例になります。(5)は市としてもスマートフォンの教室をしたのですが、ここは自治会として高齢者の方に集まってもらって講習会を行っています。一番の成果としては、コロナワクチンの予約をできるようになったという方がいらっしやったことと、参加した高齢者の方でラインのグループを作って日々コミュニケーションをとり「ここの集積所に出しちゃいけないゴミが出ているよ」と写真を撮って報告できるようになったのがおもしろいようで、会長さんは「おかげで俺の仕事が増えた」とぼやいていましたけれど、おもしろい取り組みだと思っております。(6)は広報で紹介させていただいたのでご存じの方も多いかと思いますが、回覧板は回してしまうと手元に残らないので、「回覧板のお知らせは何だった?」と思うことがあるから「写真を撮って皆さんがいつでも見られるようにします。スマホで見てください。」という取り組みです。これを後追いで市でも始めたところですが、地元で配っているものを全部写真に撮って、お知らせしている形になっております。

滝沢市も情報発信が少なく至らないのですが、実は自治会さんも、もっとアピールしてほしいのに恥ずかしがって隠しているところがあるので、地域でやっていることを市としても掘り起こして、皆さんにお知らせすれば、いろいろな地域の情報を見ることができるので、こちらは課題として次年度以降も頑張っていきたいと思っております。

また、コロナとは関係ないのですが、6ページから、今年度1年間取り組んでいただきました、地域別計画の策定についてのご説明を載せております。今年度が地域別計画の最終年でございましたので、地域別計画のふりかえりをしながら、次の計画に向けてのワークショップをしていただきました。ふりかえりワークショップを1回、これからの計画のことを話し合うワークショップを各地域で3回ずつ行っていております。まだ完成には至っていませんが、現在、3回のワークショップの結果を受けて作った計画の案を自治会や地域で共有していただいて、さらに完成形に向けてまとめる話し合いをしていただいているところです。地域によってはこのワークショップに子育て世代のお母さんたちが入ったとか、働いているお父さんたちにも入っていただいたとか、これから長い間の計画なので、終わるころには携われない方だけではなく、これから携わっていくだろうという方をうまく取り込んでいただいたワークショップでしたので、非常におもしろかったと思っております。簡単ですが説明は以上になります。

### （進行）会長

ありがとうございます。コロナだからこそ、脳みそに汗をかいて皆さんこうした素晴らしい取り組みをやっているのだと思います。ぜひ、こういうのを掘り起こしたらメディアに投げてほしいです。新聞社は結構こういうものが好きです。コロナの中で、今までできなかったけれどこういう風なことをしているという話題には飢えていますから、ぜひ滝沢の記事がたくさん載るようにお願いしたいなと思います。

このようにですね、これは私の方から事務局にお願いして、基本条例の一番目指すことは住民自治ですので、この3年間、大変なことはあったと思うのですが、頑張っている取り組みなどをこの際ぜひピックアップしていただけたらなとお願いしたものです。

こうしたものをご覧になりながら、またちょっと一巡したいと思います。皆さんの地元やご所属で乗り越えてこられたこと、あるいは、こうした子どもを預かるというのはコロナ禍で見えてきた「誰が一番困っているか」というのが地域の中でみえてきたものです。ですから子ども食堂とかがありますが、そういった可能性も含めて、これから条例を活かしながら出てきた芽を伸ばすような、何かできることがないかなというご提言を含めて、フリーディスカッションで結構ですので、出していただけたらと思います。

### （発言）委員

私は先ほど、婦人会の立場でここに来て、70年の歴史があると言いましたが、一番感じるのは会員数の減とかありますけども、先ほどの地域活動のところの4ページにある高齢者向けのスマホの教室、これに行ったという話を聞いて、「いいね〜」って。大勢の参加だと手が回らないけれど、ほどほどの人数で良かったと聞きました。他の地域でも、スマホ教室をやりたいという話が聞こえてきて、これは良いことだなと思いました。実際、私たち市婦協でも会員とはラインでつながっていますし、やれることやっていて、私たちも満更おばさんじゃないのだというところを若者と少しタイを張って、そうすると若い人も入ってこられるのではないかという作戦を練っていました。女性特有のロコミ、「あれ良かったから、行こうね」という宣伝を上手にやろうねと言っています。「行ったらしいよ」ではなくて、「行ったけど良かったっていうから、次行こうね」っていうのを。例えば、情報交換で地域づくり懇談会に行くと、いつも女性が少なくて肩身狭い思いをするんだったら、あなたが一人声をかけて、あなたも一人声をかけたら3人になるんじゃないっていうふうに作戦を少しずつ変えてきたところで、これからなんとか若者を取り入れながらできる活動ができればいいなと思います。

それこそスマホ教室にいった人たちは、この前、温泉に行った時にずっとSNSをやっていました。こういう交流もあるのだということがわかって、いじけないで時代について行こうよと。できることはやっていきたいなと。以上です。

### （進行）会長

ありがとうございます。こういう他にも広がるような動きはあるのですか。

### （発言）事務局

そうですね。この研修で講師をした方が「参加者の皆さんは、自分の子どもには聞けないと話している。」とおっしゃっていました。子どもに質問すると、1回目は教えてくれるけど、もう1回聞くと「さ

つき言ったべよ！」って言われて。それで、ここでできた仲間の中でちょっとできる人だと聞きやすいと言って、みなさんにご興味示していただいています。市の企画政策課でも、自治会役員対象の操作研修のリメイク版を柳沢で開催したのですが、それが口コミでまた広がっていけばいいなと思っています。

#### （進行）会長

こういうのうちの学生も講師に使っていただければ。いつでも行きますので。

#### （発言）委員

資料3の2の（3）、これが自治会主催じゃなくて子育て世代の方々の話で自治会が作り上げたというところがすばらしいことだなと思いました。私の自治会もけっこう高齢化が進んでいまして、そういう意味でこういう若い世帯が少ないものですから、そういう人からの提案を取り入れるような方法を考えていく必要があるなと思いました。会長にも伝えていきたいなと思います。こういったことはどんどん発信していただいて、非常に良いと思いました。

#### （進行）会長

発案した人が地域の中で見えた。今まで見えていなかったのですね。この見えた人をそこで終わらせず、ちょっと来てみない？と巻き込むのが常套じょうとうですので。

#### （発言）委員

地域活動についてですけれども、コロナ禍においてだいぶ停滞して、事業も中止してきました。その中でも、やはり子どもを巻き込んだ活動をやっていくべきじゃないかと思っています。例えば、小学生・中学生のスノーバスターズをやっていますけど、それ以外の地域の活動、防災訓練、清掃活動も含めて、いろんな活動で子どもを巻き込めば親も一緒に出てくる人が多いです。どうしても地域の活動に若い人が出てこないというのが大きな問題で、先ほど委員が言ったように、高齢者だけで活動しても全然先が見えない。そのために地域の子ども達が活動できるようなものを作って行って、親もそれに巻き込んで活動していくというのがこれから大事なんじゃないかなと思います。

特にわが地域では小学生との夜回りを5年間もやってきたのですが、1時間ばかりですけども、子ども達と親が一緒になって地域を夜回りする活動のおかげで、今まで火災が1件もありませんでした。そうした活動を親と一緒にやれば、親も地域に少しでも溶け込んでくれるんです。

あとはスノーバスターズ、除雪ですけども、それも子どもと親が一緒にやることで、地域のいろんな活動に入りやすいような雰囲気をこれから作っていかないと。高齢者はもう疲れてきちゃって。若い人を取り込まないと、地域の活動が成り立たない状況になっています。そのためには、子どもを巻き込んだことを考えていき、親が出やすい雰囲気を作っていくということも大事だと思います。以上です。

#### （進行）会長

大事ですね。特に今までの3年間、子どもはものすごく我慢してきましたから、この我慢をどこかで回収してあげないと、本当に禍根を残すと思います。多世代でできる軽スポーツ的なものも今いろんな工夫がされて楽しいのがいっぱいありますので、ぜひトライしてみてください。

#### (発言) 委員

この間、子どもと一緒にポッチャというスポーツをやりました。

#### (進行) 会長

今、「リアル野球盤」というのも全国的に普及しつつあります。この間、リアル野球盤協会の全国の会長さんとお話ししてきたんですけども、「いつでも来ますから」と言っていましたから、もしよろしければご紹介します。

#### (発言) 委員

事例(1)の臨時休校ですね、当時の安倍総理が突如、「小学校・中学校を休校とします」と言って3月の休校になったときですけども、やはり学童もそれまでは放課後から集まっているものが、その日から朝からお子さんを預からなければいけない状況になりまして、やはり苦労されたのはお母さん方の弁当です。市内の小中学校で学校給食が出ていたのが、突如「お弁当用意してね」となった状況があつて。その際に県立大学の学生さんがお弁当を作って、各学童に届けてくださいました。それがすごく好評で、1回だけでもお弁当を作らなくて済むっていうのは本当にありがたいことで、結局3月と4月と2回利用させていただきましたが、栄養もしっかり管理されたもので、おいしく、子ども達に欠かせないエネルギー一分も補給できるってことで良かったなと思うと同時に、お年寄り子どもっていうつながりはよくありますけれど、学生とお母さんっていうつながりが意外になくて、大学生とお母さん方っていう接点はあまりないなって思いながら、こういうところで「どういうふうに調理したのですか」とかコミュニケーションが取れる機会もあったので、すごく良かったなと思いました。そうやって、若い世代も滝沢市のために頑張ろうとか、困っている地域の方々のために支えになろうと思ってくれた学生さんとかに非常に感謝ということがありましたので、つながりを感じました。

#### (進行) 会長

良い話をありがとうございます。

そういうふうにごく困ったお母さん方がその時は支援される側だったと思うのですが、そういったことを経験されたことで次は地域のために何かできることをと順繰りになっていくものなので、ぜひ「若い人は何もせんで、けしからん」ということだけでなく、声をかけてあげることが大事だなと。

#### (発言) 委員

私は自治会連合会の立場で参加していますから、このようにコロナ禍で色々活動が制限される中で、地域とかあるいは自治会がこういった創意工夫をこらした取り組みをやっていただいているということに敬意を表したいと思います。2月16日に自治会長研修がありまして、市長に講話をいただきましたけども、そこで私から32名の自治会長に、令和5年度の事業計画については、コロナ禍前に実施していた事業あるいは行事を復活して、全てやるような形に、それに加えて創意工夫を凝らした新しい事業をプラスして取り組んでほしいとお願いしました。5月8日にはコロナウイルス感染症も感染症法の法律上の扱いは5類に指定されて規制を緩和ということになっていますので、ぜひ令和5年度は自治会としても地域としても、子ども会を巻き込んでこういった事業に取り組んでいきたいと思っています。



### （進行）会長

ぜひよろしく願いいたします。

### （発言）委員

私は所属としてはいわて生協なので、地域で活動しています。滝沢でも、いろんな子育て世代に対しての企画を開催していきまして、社会福祉協議会で開催している子育てサロンにも訪問させていただいています。そこでボランティアの皆さんが、お子さんたちを見守って一緒に遊んでいる姿を知ることができました。やはりそうやって、子育てママとかお子さんたちも地域の皆さんに支えられて育っていつていることを改めて知ることができました。こういうことは行かなきゃわからなくて、ボランティアの皆さんが支えてくださっていることは、行って初めて知ったことだったので、自分のことだけじゃなくて、もっと視野を広げていろんなところに顔を出したり、お邪魔させていただいて、地域のことを知ることでも大事なのだなと感じていたところです。

それこそコロナが緩和されることによって活動とかも広がっていくと思いますので、ぜひ地域の皆さんと楽しくイベントができたらいいなと思いながら来年度の計画を立てているところですので、その際は皆さんにもぜひいらしていただきたいなと思いますのでよろしく願いします。

### （進行）会長

ありがとうございます。社協さんの活動というのは、これから地域自治の中でポイントとなってきて、そこと地域が連携できるかどうかというところで、自治会でかなりの差が出てきていて、意外と社協も縦割りなんですよ、市でも地域でも、そこが民生委員さんや自治会と連携していけると活動の幅も広がるのかなと思います。

### （発言）委員

地域活動ということで、資料の新しい取り組みも良いことだと思います。ただ、うちの会社の方で委員のお住いの地区をずっと除雪させていただいていますけれども、道も非常に狭くて大変なところです。でもこれだけは言いたいのは、一番作業しやすい団地です。狭くて、東部なので雪も結構降りますけれども、でも一番作業しやすい。除雪する側としては、これは歴代自治会長さんの活動の賜物<sup>たまもの</sup>だなと感じていまして、そういうのをぜひ新聞とかに情報発信してほしいと思います。広報とか一部の方に情報はいくのですが、広くメディアを活用してそういった積み重ねてきた既存<sup>きぞん</sup>の取り組みというのを情報共有したほうが良いのではないかなと思います。それだけではなく、自分の自治会では10年も前からやっているよという取り組みが、実は他の自治会の人<sup>きぞん</sup>がその情報を得ると非常に役立つ情報であるとか、そういうところ取材してピックアップしていただければいいのかなと思います。

あと私はいま一本木の中学校でPTA会長をしているのですが、PTAとか自治会とか民生委員とか学校とかそれぞれ役割があると思いますが、もうそれぞれじゃなくて、地域が一体となって連携して何か1つを成し遂げるというのをやっていかなければ、それぞれ独立でやりたいことをやっていく時代じゃないのではないかと思います。例えば学校教育振興協議会で、地域の方と先生と私たちPTAとで地域の課題の話は出たのですが、子ども達に対する要望であるとか地域のあり方というのは、すごく思いはあるんですけど、子ども達には全くそれが届いていないと。さらには地域愛というのがどんどん薄れていると思うので、私がPTA会長をして提案させていただいたのが、学校の授業の中で地元のおば

あちゃんが郷土料理を教えるとか、地域の課題などを地域の方と子ども達を集めてワークショップを開いて、一つ一つ洗い出していって解決に地域で向かっていくというのをやっていったほうがいいのではないかと。コロナのおかげで従来のやり方ができなくなったので、新しい発想が生まれてくるのは良いことだと思います。それを言ったら先生の方がちょっと大変というのは現実としてあるんですけど、でもPTAだけではできない、学校だけでもできない、自治会とかいろんなところと一緒に人を出し合って地域の活動を作っていくというのを来年度取り組んでいきたいと私は考えています。やはり既存と新しい取り組みを両輪でやっていきたいなど。

#### （発言）委員

4年生の「わたしたちの滝沢」という社会科の授業でも、さらっとなんですよ。郷土料理とかすごく深掘した内容を子ども達に伝えるという機会は必要かなと思いますね。

#### （進行）会長

そうですね。ものすごく進んでいるところは進んでいて、たとえば中学校の探求の授業は全部地域で、地域の商店とか事業所さんとか全部その場を借りて体験させて歩くとか、やっているところはどんどん進んでいるので、おっしゃったとおり、それぞれがバラバラにやっていっても人がいないので、活動を重ね合わせるというのが大事で、そのために地域振興会があると思うんですけど、なかなか知恵も必要なところですよ。事業者さんはどんどん巻き込んでほしいと思っていますが、後継者問題とかありますね。それと社協さんが福祉作業所と連携して、福祉作業所の活動としてやっていくとか、今のカテゴリーを崩さないとだめです。自治会が一生懸命自主防災をやっていますよね。避難させるのがなかなか難しいと、そしたら地域の特養施設と連携協定を結んでお互いに手を差し伸べることをしましょうとか、そのあたりのコーディネートも行政も今後、関わっていかないと、というところですね。

#### （発言）委員

地域の活動について、私も自治会の役員を以前やっていて、その時、組織をもう少しスリムにしたかどうかという提案を申し上げたことがあるんですよ。Aさん、Bさん、Cさん・・・とみんな役職をつけないといけない雰囲気がまだありまして、それはいいのですが、機能しないだろうと思います。それと今いろんな自治会の事例の報告を受けてうらやましく見ていました。うちの自治会もこういうふうにホームページで発信してもらえないかなと。先ほど事務局から説明あったように、回覧で手元に置いておきたいものってありますよね。すぐ回さなきゃいけないのをホームページだったら何度も見られますしね。私は、結局スキャナーでとって置かなきゃいけないので、こういう事例はすごくうらやましいですね。

それから、感心したのはコロナの中で工夫してやられていること。やられた役員の方々などは大変だったと思うのですが、こういうことをやっているところもあるんだなあと資料を見てはじめて知りました。こういうことを推進していかれるなら、行政も支援していくべきですよ。それがないと、なかなか推進しにくいところもありますからね。取り組みづらいと思いますが、それをなんとかボトムアップしていくとか。

### （発言）事務局

コロナ禍で気づいたことは、それぞれの自治会で良いことをやっているの、共有して真似すればいいということが、会長研修や役員研修でわかってきたところかなと思っております。

### （進行）会長

いま委員がおっしゃったようないわゆる自治会向けのご近所アプリみたいなのはたくさんありますので、ぜひ研究していただいて。そうすると例えば、〇〇支援のようなテーマで検索するとそれが全部他の自治会でも見られるというようなものもありますので、そういうのも有効かなと思います。

時間がそろそろというところになってきたので、市長さんから皆さんのご意見を聞いて何かありますか。

### （発言）市長

先ほどお弁当の話など様々ありましたが、実は今回給食費の年間支払う金額が5,000円くらい上がります。食材料費はいろんなものが上がってしまいました。また光熱費も上がりまして、来年度は上がる分の半分を市で持つということにはしていますけれども。実は私、給食費を上げる前に、主食分を1か月に何度か各家庭から持ってきてもらえば給食費を上げないで済むのではないかなと思って、自分でも弁当を毎日詰めてみたのですが、やってみたら結構大変ですね。朝、米を研ぐか、前日に米を研いで準備するか、やってみてはじめて、ご飯を当日の朝用意するという大変さがよくわかりました。でも今も毎日ちゃんとやっています。自分で弁当詰めています。でもそれをやりながら、市民目線で行動することの大事さ、それから、お願いすることとできることの役割分担の大事さがわかり、それを考えながらやればいいのかと思っていました。それぞれの家庭であったり、個人の暮らしであったり、そういったところまでしっかりと市としてなにができるか、なにをこれから寄り添ってやっていけばよいかということを見ながらやっていきたいですけど、いずれにしても、この滝沢市がコロナ禍を経験したからこそ、どういった活動ができるかというところをいろんな団体の皆さんと見つけていきたいなと思います。要は見つけていきたいというのは、一緒になって見つけていきたいということです。

私が市長方針ということで、各課に伝えているのですが、市民の皆さんとかしこまらずに対話をしましょうと。市だから聞きに来ましたとかではなく、少しでも皆さんの困りごとを一緒になって考えていく、寄り添っていくという形で、市制10年目を迎えましたので、これからの方向性を一緒になって作っていきましょうと、そういう雰囲気を作っていきなと思っています。そのためにも、本日いただきました様々のご意見、除雪の話も後でもう少し詳しくお伺いできればと思っています。道路課は本当に苦情の嵐で一番行きたくない課になっています。本当にひどい言動で怒られることもありますので、じゃあそういった除雪しやすい地域って何があるのだろうというのにすごく興味を持ちましたので、これからいろんな情報をお聞かせいただきたいと思います。本日は本当に勉強になりました。ありがとうございます。

### （進行）会長

ありがとうございました。皆さんからたくさんご意見をいただきました。私の方のとりまとめもありませんので、ぜひ、こういう話があったということ自体も何らかの形でフィードバックして市民にお知らせしていただきたいですし、委員さん方それぞれ地元や団体で、こんなことを話されたよとお伝えし

ていただければ、回っていくのかなと思います。

**(司会) 会長**

ありがとうございました。閉会いたします。